なかがわ 歴史散歩

江戸時代 山田村庄屋 高橋善蔵の足跡を巡る

那珂川市郷土史研究会

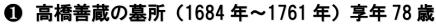
日 時 **9**月 **9**日(土曜日) 集 合 12時15分 出発 12時30分~帰着 16時00分頃

集合場所 ミリカローデン那珂川 エントランスホール 参加費 500円 (保険代含む)

■現地バスツアー

高橋善蔵は、江戸時代の山田村(現在の那珂川市) に生まれました。飢饉で苦しむ福岡藩の財政改善を藩と ハゼ栽培とハゼロウの製造販売で行い成功しました。

現地バスツアーは、高橋善蔵のハゼ栽培した現地や藩のハゼ仕立所、善蔵の顕彰碑、善蔵墓所を巡ります。



善蔵は、晩年病に臥し長男常次に「櫨実遺言」を書き ハゼの生育・栽培法を伝えました。藩は同書を『窮民夜 光の珠」と題し、筆写して藩の庄屋 40 人に配りました。 これによりハゼ栽培は、藩内に一気に拡大しました。

全 善蔵の菩提寺と村の顕彰碑

高橋善蔵のハゼ栽培によって山田村は、村人の暮らし家産繁殖して延享3年(1746年)頃にハゼは成長し、 櫨の僅か十分の四で税を収納、村民は富栄え那珂郡 の冠たる地位となり、村民は顕彰碑を建てました。

❸ 善蔵の生家と盟友吉田栄年・保年の屋敷跡 善蔵の生家跡と盟友吉田栄年(まさとし)、保年(やすの岩門荘別宅「吉田屋敷」跡を車窓より見学します。

◆ 大野城市恵比寿神社境内の高橋善蔵顕彰碑

顕彰碑は、高さ2.7m、巾70cmで明治19年(1886年)10月、福岡県知事安場保和の謹書が彫られている。知事は、「善蔵その人のごときは聖世嘉賞するところ」と云い、読む人は感発せよと述べています。

お問合せ先 那珂川市郷土史研究会

5 090(4772)7873

(火~金曜日 10:00~15:00)

ガイド: 那珂川市郷土史研究会







